



自治会だより

～世代超え 気持ち繋がる
ふるさとへ～

2020
初夏号



新年度によせて

自治会長 半沢 茂

第32回通常総会（書面決議）において、自治会長を仰せつかりました。

2年目の今年度、初めて経験する新型コロナウイルス感染によるパンデミックで、日常生活に大きな変化が見られます。

感染防止のため3密（密閉・密集・密接）を守ろうと、外出の自粛が求められ、公共施設の期限付き使用中止や各種事業の中止が相次ぎ、そして教育現場にも今迄に見られないほどの混迷ぶりが表れております。

感染症との戦いであったと言われている人類の歴史は過去、天然痘・黒死病（ペスト）・スペイン風邪などで多くの犠牲者が出たと聞いております。

このような中で白岡ニュータウン自治会は、懸案事項の葬儀場問題につきましては「住民監査請求」や皆様のご署名を戴いた「事務監査請求」を行政に提出することで活路を見出す方針で、又、CATVの今後の方向性を会員に提案し、新しい受信環境を実現したいと思っております。

自粛が何時まで継続するか不確定の時ですが、ソーシャルディスタンスに気を使い、マスク・手洗いを励行し、免疫力を高めるバランスよい食事を考えながら皆様のご協力を得て活動を行ってまいります。



（初夏を彩るツツジ）

* 第 32 回通常総会 報告・質疑 *

第32回通常総会報告

総務部長 増田 健

白岡ニュータウン自治会通常総会並びに自主防災会通常総会は、例年4月29日に白岡東小学校で開催していましたが、今回はコロナウイルス感染拡大の影響で、会員が一堂に会し開催する事ができず、書面による決議を行いました。

今年の会員世帯数1400、決議書の提出数1052件、75.1%の提出率となりました。多くの方が自治会活動に関心を寄せていただいた結果と、ありがたく受けとめております。

決議の結果について、新年度役員(案)、活動計画(案)については、全員一致で承認新年度予算(案)についても、それぞれ1件を除く会員の方から承認されました。

会員の皆様から自治会活動等に多数のご意見、ご質問等

をいただいておりますので、主なものについてご紹介します。

Q サイカンによる葬儀場建設について

A 「なんであの場所に」という思いから業者・行政との話し合いを重ね、都度IIChで情報を公開して参りました。

今年3月に自治会は、「新白岡を考える会」と共同歩調をとることとしました。そして皆様からご署名頂いた「事務監査請求」を提出し、行政から事業者への行政指導を期待して、葬儀場建設にストップをかけたいと思っております。

Q CATVに関する進め方について

A CATVに関しては、今後事業者と交渉を続けて行く

中で、逐次IIChで詳細をお知らせして参ります。

Q 班会議について

A 班会議は、班内の交流、情報共有等に有効であり、地域との関わりを持つことは、生活していく上で切り離すことが出来ないものです。

また、班会議で出されたご意見などは、ニュータウン全体が安全で住みやすい環境を維持していくためにも、貴重なものです。班長さんには大変ご苦労をおかけしますが、出来るだけ班会議を開催するようお願いいたします。

班長の選出については、班ごとに事情が異なるために各班の判断にお任せいたします。高齢、病気、転勤など班長が務まらない理由は様々です。班会議等で話し合い、各班の事情に合わせ条件などを設定し、班長選出をお願いします。

また、班会議を開催する際に役員を呼んでいただければ、自治会の活動やニュータウンの最近の状況などの話題を提供したり、皆様のご質問にも可能な範囲でお答えしますので、その旨事務局にご連絡下さい。

Q 決算書及び予算書について

A 余剰金の処理
・ 予算額の毎年度予算との比較

A これまで行事口の決算においては、余剰金はそのまま残していましたが、昨年から全て一般口に戻した形で処理しています。

新年度予算については、年度開始前に審議するものですが、総会の日程の関係で新年度に入ってから開催になります。旧年度の決算も固まっており、決算額と比較した方が、前年度予算と比較するよりわかりやす

＊ 第 32 回通常総会 報告・質疑 ＊ 自主防災会令和 2 年度活動 ＊

いとの意見も多く、決算額と比較出来るように変更しています。

Q 高齢化に伴い、縮小傾向の自治会行事を、高岩等の他地区と協力して実施してはどうか

A 自治会メンバーの高齢化が進み、イベント縮小要請の声が聞かれます。近隣の地区は、それぞれ伝統を有しており、どのような形で協力できるかこれからの課題とさせていただきます。

Q ふるさと祭りの盆踊りに代えて、多彩なイベントを企画して欲しい

A ふるさと祭り開催に当たり、皆様の意見を踏まえ、多様なイベントを企画して参ります。

Q ごみゼロ・クリーン運動は、2、3回に分散して行って頂きたい

A 春のごみゼロ・クリーン運

動は、国からの要請で全国一斉に実施しています。さらに、市の協力によりシルバーさんの除草作業等を年数回実施しています。

Q 駅前通りの武蔵野銀行先の歩道に、根上りしているところがある

A 根上りしている歩道は広範囲に見受けられ、根上りのひどいところから順次市に申請し補修しております。

Q 街路灯を増設して欲しい

A 住宅内の電柱に街路灯が設置されていない所について、必要な所には市に設置を要望して参ります。

以上

令和 2 年度の活動について

自主防災会会長 田端 勇治

新型コロナウイルス感染予防のため、総会の開催が中止となりました。そこで令和 2 年度の活動計画について主な活動をご連絡します。

- ① 破損した消火器ボックスの交換
 - ② 6月21日、『家庭でできる防災対策』の講習会開催
 - ③ 10月18日、防災訓練を白岡東小の校庭で実施
 - ④ AED講習会を開催
- 不要不急の外出の自粛が求められる状況下、今一度各家庭でできる防災対策について考えてみましょう。
- ① 家具の転倒防止はできているか
 - ② 1日1人最低3ℓ以上の水は確保できているか
 - ③ 1人最低3日分以上の非常食は確保できているか
 - ④ 非常時の連絡方法は、家族で決めてあるか

災害は時と場所を選ばずに発生します。今できる防災対策を家庭内で実行に移しましょう。災害の被害を最小限にするために一番大切なのは、自助です。自分の身は自分で守りましょう。

次に大事な事は、共助です。隣り近所の人たちで互いに助け合う。このニュータウンには、素晴らしい自治会組織があり、大変強い絆ができています。この強い絆があれば、災害が発生しても被害を最小限にすることが出来ます。

今、新型コロナウイルスで大変な状況にありますが、乗り越えられる力が人にはあります。この自治会だよりが皆さんの手に届くころには、この非常事態が収束していることを心より願っております。



* 新任役員挨拶 *

新任挨拶

新副会長
小田木文雄



昨年度、初めての役員として環境部長に選任され、諸先輩方のご助力で、なんとか私なりに頑張ってきました。

これから更にと思っていたところに、次年度は副会長と言われて困惑しました。

今年には葬儀場の問題に加え新型コロナウイルスで、これまでになく大変な年となります。

このような年に、微力な私で務まるのか不安になりましたが、頑張ってみようと決心しました。

ニュータウンの未来のため、に精いっぱい頑張りますので、よろしく願います。

新事業部長
伊藤憲造



世を震撼させている新型コロナで外出すらも儘ならず、自粛し穏やかな日々を只管願う今日この頃ですが。

さて、この度事業部2年目で部長を仰せつかりましたが、無事務め終えることを唯々夢想しております。

昨年「ふる里まつり」は用意万端・関係者皆様のご尽力にも拘らず台風で中止の憂き目を見ることになりました。今年こそは、「2020ふる里まつり」と銘打って盛大に開催したいと思いますが、世の情勢を鑑みて臨機応変に対応するつもりです。

事業部役員5名、緊禪一番コミュニティーの一助となりますよう全員頑張ります。

新環境部長
羽谷智



令和2年度、環境部部長を務めます羽谷智と申します。

昨年まで、副部長として小田木部長の補佐をさせていただいていました。令和2年度は、新型コロナの影響により新年度班長さんとの顔合わせもできず、会合も開けない状況でスタートしました。

例年行事である5月の生垣害虫駆除及びごみゼロ・クリーン運動も中止せざるを得なくなりました。今後は、状況次第での活動となりますが、白岡ニュータウンが美しく、心とむ街としてあり続けられるよう、自治会員皆様・班長さんのご協力を頂きながら、務めを果たしていきたいと思っております。

ご協力をどうぞよろしく、お願いいたします。

新会計部長
関根勇



前会長から自治会の役員を依頼されお引受け致しました。

25年前にニュータウンに転居しました。環境の良いニュータウンに住む事が出来、良かったと思っており、少しでも地域に貢献できればと思います。

家族や地域の役に立つためには、健康で居ることが一番と体を動かしています。

感染拡大で、外出を自粛するよう要請される中、畑で野菜を育てながら成長する様子に元気づけられています。

今年、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、行事や活動が制限され変則的な自治会運営管理になると思いますが、前例の無い中で皆様に協力し、住み良いニュータウンを継続できるように少しでも支えになればと思います。

＊ 新任役員挨拶 ＊ 退任役員挨拶 ＊

新任 監事
黒澤明則



白岡ニュータウン2丁目在住の黒澤です。

昨年、長年勤めた会社生活を卒業し、これからは白岡ニュータウンの自治会活動に積極的に参加し、地元貢献したいと思っております。半沢会長からお誘いがあり、今回監事として自治会活動の一端を担うこととなりました。白岡ニュータウンは街並みもきれいで、大変住み心地が良い町と言われております。諸先輩方が築かれたこの町のイメージを損なうことのないよう、経験未熟ではございますが、誠心誠意尽力させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任 事務局
岡田好弘



監事を仰せつかり、もうすぐ1年目になろうとしていた時に事務局の前任者である渡邊さんがお辞めになるとの事で、急遽後任を頼まれた次第です。決算まであとひと月というタイミングで、お受けするには不安がありました。お陰様で会長はじめ役員の方々のお力添えにより無事決算処理を終える事が出来ました。会計部を2年間経験したことが役に立ったようです。事務局の仕事は、自治会員の皆様からお預かりした自治会費の管理と日常の事務諸費等の出納業務と事務全般ならびに役員の皆様方への連絡調整、集会場の受付・維持・保守管理等々多岐にわたります。

会員の皆様のご支援ご協力を、今後とも宜しく願います。

退任挨拶

前副会長
野呂典子



皆様のご協力とお知恵を拝借しながら、沢山のことを学んだ7年間でした。

特に、自治会創立30周年記念の節目に関われたことは、私の中に深く残っております。記念式典、記念誌発行、ふるさと祭りと、事業を次々と完成させて行く役員の皆様のパワーには圧倒されました。

有能な方々の集まりであることを改めて認識致しました。担い手の高齢化や、総合地所の撤退、そして葬儀場建設予定など、課題は沢山ありますが、これを超える、白岡ニュータウン自治会がますます発展されますことを信じております。

前事業部長
原尻文枝



ここ何年も軸足が職場にある生活で、地域の活動に主体的に参加してこなかった自分にとって、この2年間の自治会活動は、とても有意義な時間となりました。

引越して来た平成4年当時、夕方の公園は子供達であふれる若い街でした。子育て世代は私もふくめてリタイヤ世代となり、安全で助け合えるコミュニティがより大事だと感じています。

自治会も住民の変化に合わせて変わっていくとしていますが、役員の方々のボランティア精神に頼るばかりでなく、当事者意識をもってこれから自治会活動に参加していきたいと思えます。

＊ 退任役員挨拶 ＊ お知らせ ＊

前会計部長
萱場正之



今年度で会計部長を退任いたします萱場です。

皆様に支えられ何とかお役に立てましたこと感謝申し上げます。

さて、令和元年度の決算報告や令和2年度の予算案を作成しながら今更ながら白岡ニュータウンの会員数や予算額の大きさに驚き、これは間違いなく大きな力であると確信いたしました。

会員の皆様からお預かりした自治会費は白岡ニュータウンの安心安全で緑豊かな美しい街づくりのために間違いなく生かされておりますのでどうかご安心ください。

これからも自治会の活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。

どうも有り難うございました。



岡さん ありがとうございます！



集会所の周りがいつもきれいになっているのは、岡美代子さん（2丁目在住）が、ボランティアで暑い時も雑草を取っているからです。「シルバーさん」に間違えられるんですよー」と、岡さんははにかみながら言います。
草取りを見かけたら皆さんで応援しましょう。

ニュータウンの情報は
ホームページや11チャンネルで！



ホームページは
『白岡ニュータウン』
で検索！

さまざまな情報 & 催事についてのお知らせや報告
またおもしろい動画なども楽しめます
スマホにも対応



掲示板だけじゃないよ
テレビでもスマホでも

CATV11チャンネルでは
最新の情報をお届けしています



放送案内

- ☆通常のご案内
 - 資源回収のご案内
 - 自治会HPをご活用ください
 - ペットマナーについて
 - ケーブルテレビ不調の場合の連絡先
 - 急増 特殊詐欺被害！



- ☆新しいご案内
 - 総会（書面決議）承認のお知らせ NEW
 - 事務監査請求のための署名活動の結果NEW
 - コロナウィルス肺炎について
 - 集会所使用の中止について
 - ごみゼロ・クリーン運動中止のお知らせ NEW
 - みなさん一緒に歌いましょう NEW



* 白岡人物伝 中世の雄 鬼窪氏 *

特別寄稿 第六回 武蔵七党 野与党の有力武士
白岡人物伝 中世の雄 **鬼窪氏**
 白岡市文化財保護審議会委員 板垣時夫

白岡興善寺の節分行事「豆まきまつり」では、「福は内、福は内、鬼はご随意に」の掛け声で豆をまきます。この掛け声は、中世の白岡付近を治めていた鬼窪氏縁の家で行われる豆まきにあやかっています。

鬼窪氏は武蔵七党の野与党に属する有力武士でした。武蔵七党とは武蔵国の強力な武士団であり、野与党はその一つで白岡市付近を中心に活躍しました。

中世の（鎌倉時代～室町時代）の小久喜・白岡・実ヶ谷付近は鬼窪郷と呼ばれ、鬼窪氏はここに居住していました。鬼窪氏には南鬼窪氏と北鬼窪氏と二つの流れがあり、さら

に南鬼窪氏からは、白岡禪師澄意（白岡氏）を輩出しています。北鬼窪氏の祖は、野与六郎基永の系譜をひく鬼窪六郎定綱で、南鬼窪氏の祖は鬼窪四郎行親であります。

この鬼窪四郎行親は『吾妻鏡』に源頼朝の命を受け、元暦2年（1185）3月14日の条に鎮西に存った頼朝の弟範頼への書状を遣わす使者として記されています。これは、平家を滅亡させた壇ノ浦の合戦のわずか10日前のことです。この書状には平家討伐や「宝物」のことが記されていたようで、重要なことを伝える使者として派遣されたものです。このことから鬼窪氏は源氏の御家人衆の中でも信頼の厚い

人物であったことが窺われます。

また、建久6年（1195）に白岡八幡宮の社殿造営に際して、頼朝の命により社領百貫文（中世の石高）の寄進を鬼窪某に使わしたことが『新編武蔵国風土記稿』に記されています。

その後、時代はくだりますが、武蔵野合戦における観応2年（1351）に記した

「高麗経澄軍忠状」（日高市 町田家文書）に鬼窪弾正左衛門、鬼窪左近将監らの名が足利尊氏方として加わったことが見えます。軍忠状とは戦功を記して、功績に見合った感状や所領を給与されるものです。これらのことから、出陣し恩賞を与えられたものと思われるます。

このように中世期に活躍した鬼窪氏ではありますが、その後の消息は少なくなっています。

まいます。

江戸時代の小久喜村名主の鬼久保家祖先「鬼窪尾張繁政」（天正19年＝1591）は、小久喜の寿楽院を開基しています。

白岡八幡宮の享徳5年（康正2年＝1456）銘の鰐口（市指定有形文化財）には、「武州寄西郡鬼窪八幡宮鰐口享徳五年丙子八月十五日聖秀尊」の銘があります。



（白岡八幡宮鰐口 市指定有形文化財）

＊ シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (3) ＊

シベリア鉄道膝栗毛

九二九八キロ 列車の旅 (3) 植木育雄

成田より空路ウラジオストクに渡った筆者は、ノボシビルスク行第7列車に乗り、長い鉄道の旅に出発します。今回は途中のヒロクから、バイカル湖を過ぎ、クラスノヤルスクまでの道中記です。

ヒロク（残り5、940キロ）10時5分着。1時間停車。

車内にイギリス・グラスゴーから来た世界一周に近い大旅行中の英国人がいた。52才。日本では東京・富士山・京都を巡って来たと言う。彼のこの旅では、ベネゼエラ（国境近くを除くと安全）・ミヤンマー・メキシコ（除くカンクン）が良かったという。これからウランバートルからコーカサスに廻り、クロアチア辺りでイギリスの彼女の出迎えを受け帰国するとの由。孫もいるし宝石のデザイナーをしているとか。

しかし彼はグラスゴーに住んでいても、すぐ近くのスコットランドには行ったことがない。スコットランド人は嫌いだ（私の英語能力で誤解がなければ？）との弁。

イギリスの断面を見た感じ。蒙古族が車内に増えた感じがする内にウランウデ15時7分着。（残り5、647キロ）



活気あふれる大都市だ。トラムの線路もみえる。何よりもモンゴル風情が漂う街、人々、ビルの様式、溢れる広告に色濃い。また、北京・平壤からモンゴルを通じてモスクワまでの直通列車が合流する駅だ。だから駅構内にはモンゴル鉄道（赤紫色）の客車が大量に留置され、反対ホームには中国鉄道の客車（緑）がロシア鉄道車両と併結され停まっている。

車内で知り合ったイギリス人も下車していった。彼は駅から5分のホテルを予約している、温かいベッドとシャワーが恋しいと。白人系の鉄ちゃん二人、写真を撮っている。しかしこの二人は仲間のように見えない。シベリア（旅を通じてわかったがロシア全体）では、サービス業でもホテル以外英語が通じない。高級レストランは知らないが、食堂・ファーストフード店ではなおさら、だから指差し注文。

街中のインフォメーションもお上りさんロシア人に対するインフォメーションである。大旅行中の英国人も私程度の中学英語でも話せたのが嬉しかったのだろう。



（ウラン・ウデ駅構内）

ウランウデを発車した列車は快調に走り出した。これまでになくスピードが上がっている

* シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (3) *

るのを感じる。1キロポスト間を30秒で駆け抜ける。時速120キロになる。

右岸から左岸に渡る鉄橋を通過、例のごとく監視所がある。しかし監視兵はいない。代わりに防犯カメラが見張っている。合理化か、働き方改革か。すると車窓下の川底に崩壊して落下した鉄橋トラスが横たわっていた。

バイカル湖より

クラスノヤルスク

ついに17時30分頃バイカル湖畔に列車は躍り出た。透明度世界一、シベリアの真珠と謳われるバイカル湖だ。

しかしながら右車窓バイカル湖は曇天だ。左車窓は晴れて、雪山が続く。その山肌の雪面を太陽が美しく照らす。だが、バイカル湖は残念ながらシベリアの真珠とは感じない、雪解けの濁り水が流れ込み、湖面は鈍く静まり、入り



江には氷が打ち寄せている。小さな氷山も浮いている。これから2時間、湖畔を付かず離れず走る。

19時となって食堂車に行く。バイカル湖に祝杯をしようとした所、ウェイトレスのお姉ちゃん二人、ワインをおごれと抜かす。まるで昔のキャバレー、そんな金はないのでニエットとお断り。食堂車もお国柄か？

小さな峠越えでは眼下に湖面を見下ろす。車窓からは沖行く船も見えず、人家も殆どない。さすがに湖水も透明度を増してきたようだ。峠を下り右手に、バイカル湖から流れ出て北極海にそそぐアンガラ川に出会うと、イルクーツク(4、107キロ走ってまだ残り5、191キロ)22時24分着。

今までのどの駅よりもホームに多くの客が乗降する大都会。28分間停車する、定時運転。駅からは遠くアンガラ川を挟んだ市街地のビル群の中に電飾で縁取られた観覧車が回っている。

列車に揺られてもう3泊、曜日感覚はなくなっているが明日は日曜日だと思ひ出す。週末の観覧車は忙しいのかな？

駅舎の電光掲示板の外気温は8度、ホームの野良犬が犬

連れ乗客の犬に吠えている。どちらの犬も大型だ。ベットの犬は動じない。元横綱朝青龍を小さくしたような男がロシア美人と別れを惜しんでいる。彼のスマホで写真を撮ってくれと言われる。気に食わないが心を隠してにこやかにシャッターを押してあげる。

ホームの売店で朝食用のピロシキとビール(車内禁酒のはずなのに)、ジュース、熱い紅茶を買って350ルーブル。

ホームの端に煙が上がっている、スワツ！SLかと近づいて目を凝らすもサモワールに石炭を使う客車がいたので。日本だとストープ列車と似たようなもの。列車にはシャワーがあり、300ルーブルで使える旨のポスター掲示あり。弟が利用したが私は面倒なのでバス。

4泊目の就寝。

5月19日(日) 5日目の朝

* シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (3) *

をクウイトン付近で目覚める。満月が西に沈み、東の空は朝焼けだ。

この旅初めての好天だ。西シベリアの平原が広がり農地となる。土は黒土、肥沃な土壌と見える。家々の屋根は茶色や緑。トタン屋根ばかり目立った東シベリアとは様相が違う。今日は日曜日、昨夜イルクーツクから乗車してきた対面上段寝台の客は重機の運転手という。彼の見えるスマホの写真と「ドライバー」ということから判断、ひよっとしたら違うかも。この列車の終点ノボシビルスクまで行くという。彼は今晚も車中一泊だ。私の上段寝台の客は昨夜イルクーツクで下車、その後乗ってくる客はナシ。

タイシエト発10時5分(モスクワまで残り4、521キロ)。発車後キロポストを見ると4、510キロ。いつの間にかモスクワまで残り5千

キロを割り、モスクワまでやつと半分を超えた。

シベリア鉄道には静態保存されたSLが多くの駅にみられる。沿線都市にはシベリア鉄道に従事する多くの鉄道員が暮らし、車両を整備し保線に従事しながら鉄道を支えてきた。それは鉄道あつての町なのだ。その誇りがSLの静態保存に表れているのだと想像する。

イランカ(モスクワまで残り4、382キロ)11時31分発。この駅にも保存SLあり。



この付近、農地の野焼きが

盛んに行われて、方々に煙が上がっている。害虫駆除、灰の肥料と一石二鳥、奈良の若草山の野焼きのようなものだ。都市が近くなると、ロシア市民の別荘、ダーチャが密集してくる。週末には都市から家庭菜園付き別荘にやってくる。畑仕事に励み、リフレッシュと食料自給の生活を送り、収穫物と共に都市へ戻るといふ。

クラスノヤルスクが近づいて来た。そこで途中下車し、別の列車に乗換える予定だ。エニセイ川を渡る。大きなハシケが岸壁に着岸し、多くの貨車とその岸壁に横付けしている。川には観光船が浮かんでいる。15時53分にクラスノヤルスク到着。

モスクワまで残り4、103キロとなった。

「次号につづく」

編集後記

先日、強い夕立の後に煌々とした夕陽を受けて見事な二重虹が現れた。

「ダブルレインボウの外側の方は、色の変化が逆になる」と、写真の仕事をしている友人から教えてもらったことがある。そんなことを思い出しながら神々しい光景を眺めていると、隣り近所からも親子連れが出て来て、歓声が上がった。

新型コロナウイルスの関係で家に閉じ籠りがちな昨今、子供や大人にとっても、希望の光を仰ぐような喜びと自粛からの解放感があつたに違いない。

広報部 中村